

# あの頃の津山

## JR津山線の津山駅

(大正時代末頃)



写真提供・江見写真館



現在のJR津山駅

駅舎の前に、客待ちの人力車が何台も待機しています。自動車は左端に写っている1台だけなので、普及し始めたばかりなのかもしれません。この写真は、大正時代末頃の、現在のJR津山駅と思われる。現在の津山駅が出来るまでは、この駅が「津山駅」と呼ばれていました。

明治31年(1898)、津山線の岡山駅〜津山駅間が開通し、その年の12月21日に一番列車が津山駅に到着します。当時、この路線は「中国鉄道株式会社」が運営する私鉄路線でした。

大正10年(1921)、国営事業として姫新線の津山〜新見間(当時は「作備線」)の建設が始まり、現在の「津山駅」が建設されることとなります。それに伴い、津山線を作備線に接続するため、現在の津山駅から津山駅まで路線が延長されました。そして、大正12年(1923)、中国鉄道の津山駅が「津山駅」となり、作備線の駅が「津山駅」となりました。

津山線は、その後も私鉄として運営されますが、昭和19年に国有化されます。現在、JR津山駅は、大きな駅舎はなくなって無人駅になり、津山の玄関口として賑わっていた往時からは、大きく様変わりしています。

このコーナーに掲載する懐かしい津山の写真を募集しています

図津山郷土博物館  
☎22・4567

### つぶき 編集室

「(筆者)は、足元を調べた。くは、100円玉を見つけた。どうする? ①拾わない②拾うくは、100円玉を拾った。どうする? ①ポケットにしま②警察に届け出るくは、警察に届け出た。(中略)くは、100円玉を手に入れた。どうする? ①買い物に使う②貯金する③募金す...」

ソシオのガレッジセール。リリースを目指した衣料や雑貨などの店・約60店に大勢の人が詰めかけました。出店者や買い物客としてセールに参加する皆さんのエゴの意識に感心しながら、わたしの狙いは、同時開催の飲食屋台・にぎわい市。タイカレーやジェラートなど...ごちそうさまでした。(G)

歴史を扱った本やテレビ番組が好きで、いろいろなものを見ています。そんな時思うのは「この時代の美作国はいったいどんな様子だったのだろうか」ということ。これも建国1300年の影響かな? 日本史に美作国の歴史を重ねてみると意外な接点を見つけることもあるので、面白いですよ。(修)

### 今月の表紙

5月12日  
加茂町小中 防災訓練  
共同を育てる防災訓練

編集・発行 (毎月10日発行)

津山市総合企画部秘書広報室(市役所3階) 〒708-8501 岡山県津山市山北520番地  
☎0868-32-2029 ☎0868-32-2152 ✉kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページで閲覧できます

<http://www.city.tsuyama.lg.jp/>



☆秘書広報室のフェイスブックはこちらから  
<http://www.facebook.com/city.tsuyama.kouhou>



広報つやまは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル(雑誌)にご協力ください